

# 令和3年度

## 三鷹市シルバー人材センター会員の意識と生活に関する調査報告書

はじめに

三鷹市シルバー人材センターは令和3年に創立45周年を迎えました。同調査の第1回目は創立30周年を迎える前年の平成17年に行われ、第2回はその7年後の平成25年と続き、今回が3回目となります。

以前の2回は桜美林大学大学院に調査をお願いしていました。今回は以前の調査報告書を基にセンター独自で行うこととしました。行うに当たり、会員全員を対象とすること、依然の2回と同様の設問形式でアンケートを作成することとし、この15年間での会員の意識や生活の変化もとらえられればと考えました。

令和3年度初頭に事業部会から、就業委員会にアンケート調査の依頼がなされ、アンケートの設問作成、印刷、全会員への発送、膨大な量の返信データのコンピュータへの入力、そのデータの集計と解析、報告書の作成と構想段階から考えると約1年3ヵ月の作業となりました。このほとんどすべての作業を就業委員会のメンバーで行いました。特に黒澤靖委員の尽力により、膨大なデータをEXCELのスプレッドシートに展開し、統計手法を駆使して解析することが出来ました。

会員の皆様から頂いた貴重なデータを今後のシルバー人材センターの活動に生かされること、後世の会員の方に歴史として残すことが出来るとすれば幸甚です。

今回の第3回調査は

調査期間 令和3年9月22日～10月15日

アンケート表の発送 令和3年 9月22日

アンケート表の回収締切 令和3年10月15日

調査対象 センター会員 1660名

回答者数 891名

回収率 53.7%

でした。

第1回調査 平成17年(2005年) 対象者1592名 回答者 1406名 回収率 88.4%

第2回調査 平成25年(2013年) 対象者1602名 回答者 1475名 回収率 92.1%

今回の回収率が低いのは前2回については連絡員が個別回収したためで今回は返信封筒による回答だったためと思われます。

就業委員会 薄 保  
向笠 浩  
郡司 武史  
吉村 友喜  
黒澤 靖  
高橋 康隆  
中山 正之

#### 以下の表を見るに当たっての注意点

- ① 以下に示す各表は、アンケートの各問に対する回答の結果を示すものである。
- ② これらの表の形式は、「三鷹市シルバー人材センター会員の意識と生活に関する調査報告書Ⅱ—事業の見直しに向けて—」（三鷹市シルバー人材センター、桜美林大学加齢・発達研究所編、H25年7月発行）を参考にした。
- ③ アンケートの回答者数は、全員で891名であった。
- ④ nは、各計算に用いた回答者数である。
- ⑤ 無回答としたものには、無効回答も含まれる。
- ⑥ 表の横方向の項目が多数ある場合、最後の無回答の項目は表に掲載しなかった。
- ⑦ 表の横方向の各項目の平均値は、各年齢階級、または入会後の各年数に属する人数を考慮した加重平均値である。
- ⑧ 各項目の値に差があるかどうかは、各項目の平均値の比較によるが、真の比較は、統計的検定によらなければならない。
- ⑨ 項目間に統計的に意味のある差（有意差）があるかどうかを調べるため、項目が2つの場合は、平均値の差の検定（スチューデントのt検定）を、項目が3つ以上の場合は、多重比較検定をそれぞれ行った。
- ⑩ 年齢階級または入会後の年数については、無回答のものも検定に組み入れたが、表の横方向の項目が無回答のものは、検定から除外した。
- ⑪ 上記の検定における有意水準（危険率）は、一般に用いられる5%とした。
- ⑫ 検定に基づく結果については、表の下に簡単にコメントした。

第1章 基本属性 人数%

項目	内訳	2021年 n=891	2013年 n=1475	2005年 n=1406
性別	男性	58.8	60.7	57.9
	女性	36.5	35.4	35.3
	無回答	4.7	3.9	6.8
年齢構成	70歳未満	20.3	50.5	66.6
	70歳以上75歳未満	30.2		
	75歳以上80歳未満	27.7	45.4	28.1
	80歳以上	17.7		
	無回答	4.0	5.3	8.0
配偶者	いる	67.5	69.4	68.4
	いない	28.5	23.5	21.7
	無回答	4.0	5.0	7.8
所属地域班	上連雀1班	5.1	4.9	7.1
	上連雀2班	8.6	9.4	9.2
	下連雀1班	7.6	7.5	7.3
	下連雀2班	10.9	12.1	11.4
	井の頭班	5.4	5.4	5.3
	牟礼1班	4.7	5.1	13.2
	牟礼2班	6.6	6.2	
	北野班	3.1	4.1	3.0
	新川班	8.4	10.4	11.0
	中原班	9.5	8.4	9.7
	大沢班	7.7	6.3	6.9
	野崎班	3.1	2.8	3.1
	井口班	6.5	5.6	6.3
	深大寺班	4.9	5.2	6.3
	無回答	7.6	6.2	0.2
入会後の年数	5年未満	36.1	39.4	51.0
	5年以上10年未満	28.8	28.1	28.4
	10年以上20年未満	27.7	33.1	27.8
	20年以上	5.4		
	無回答	1.9	4.7	4.0

朱書した年齢構成、入会後の年数について、大きな変化が出ている。高齢化、入会後の年数増加がみられる。

男女比率も若干の変化はあるが有意差は確認できない。今後5年～10年で変化が出てくるものと思われる。

項目	内訳	2021年		三鷹 SC 実数 2021年9月末現在
		n=891	無回答補正	
性別	男性	58.8	61.7	60.6
	女性	36.5	38.3	39.4
	無回答	4.7		
年齢構成	70歳未満	20.3	21.1	22.7
	70歳以上75歳未満	30.2	31.5	32.0
	75歳以上80歳未満	27.7	28.9	25.4
	80歳以上	17.7	18.4	19.9
	無回答	4.0		
所属地域班	上連雀1班	5.1	5.5	5.9
	上連雀2班	8.6	9.3	8.7
	下連雀1班	7.6	8.2	8.6
	下連雀2班	10.9	11.8	13.7
	井の頭班	5.4	5.8	6.2
	牟礼1班	4.7	5.1	5.2
	牟礼2班	6.6	7.4	6.8
	北野班	3.1	3.4	3.7
	新川班	8.4	9.1	9.4
	中原班	9.5	10.3	9.9
	大沢班	7.7	8.3	8.0
	野崎班	3.1	3.4	3.0
	井口班	6.5	7.0	6.0
	深大寺班	4.9	5.3	4.9
	無回答	7.6		
入会後の年数	5年未満	36.1	36.7	41.8
	5年以上10年未満	28.8	29.4	27.0
	10年以上20年未満	27.7	28.2	25.5
	20年以上	5.4	5.5	5.7
	無回答	1.9		

右列の21年9月末の実数と21年9月のn=891赤字との誤差は概ね1%前後である。これは今回のデータがシルバー人材センターのアウトラインを正しく反映している証左となると思われる。一点のみ入会後の年数についてはばらつきがみられる。特に、入会后5年未満の会員の比率に5.1%の誤差が発生している。これは

- ① 入会5年未満の方の回答率が低かったことを示しているのか、
  - ② 会員の入会年数の誤認識のせいなのか
- は不明である。

## 第2章 健康・暮らし・年金

### 1. <現在の健康状態> 人数%

年齢階級	良い	まあまあ良い	普通	あまり良くない	良くない	無回答
70歳未満	38.7	29.3	23.8	3.9	2.2	2.2
70歳以上75歳未満	33.8	33.8	24.2	5.6	0.4	2.2
75歳以上80歳未満	33.6	31.6	24.7	6.9	1.2	2.0
80歳以上	32.3	31.0	25.3	9.5	0.6	1.3
無回答	25.0	19.4	27.8	5.6	0.0	22.2
n=891, 平均値	34.1	31.2	24.6	6.3	1.0	2.8
2013年 n=1475	35.5	26.0	27.9	6.2	0.7	3.6
2005年 n=1406	31.4	28.0	27.5	7.9	1.5	3.6

この表では、横の欄の合計が100%である。現在の健康状態（人数、%）について、多重比較検定を行った結果、「良い」と「まあまあ良い」の値が高く、これら相互には有意差はなかった。「良い」は「普通」、「あまり良くない」、「良くない」よりも有意に高かった。「まあまあ良い」と「普通」の2項目は、それぞれ「あまり良くない」、「良くない」よりも有意に高かった。

2005年に比べ会員の平均年齢は大幅に上がっているにもかかわらず、健康状態は同じ数値を示していることは驚きである。

また、以下の表は日本の高齢者の健康状態である。当センターの健康状態が全ての世代で大幅に優れているのがわかる。健康寿命が長いことを示していると考えられる。当センターでは「良い」、「まあまあ良い」の合計が60%を超え、「あまり良くない」の数値が全世代10%以下であり、歴然とした差があるように見える。

	良い	まあ良い	普通	あまり良くない	良くない
60～64歳	30.7	22.6	35.5	9.3	1.8
65～69歳	25.9	28.5	32.4	10.2	2.8
70～74歳	27.7	23.6	29.6	16.2	2.9
75～79歳	25.8	25.2	22.8	21.2	5.0
80歳以上	21.9	27.6	21.6	24.1	4.8
n=1998 平均値	26.8	25.5	29.6	15.0	3.1

<内閣府 2018年 10月 高齢調査より>

### 2. <定期健康診断受診> 人数%

年齢階級	受けている	受けていない	無回答
70歳未満	86.7	11.6	1.7
70歳以上75歳未満	91.1	6.7	2.2
75歳以上80歳未満	94.3	3.6	2.0
80歳以上	93.0	5.1	1.9
無回答	75.0	2.8	22.2
n=891, 平均値	90.8	6.4	2.8
2013年 n=1475	88.3	7.7	3.9
2005年 n=1406	85.5	11.2	3.3

この表では、横の欄の合計が100%である。定期健康診断を受けているかどうかについて、平均値の差の検定を行った結果、定期健康診断を「受けている人」と「受けていない人」の間には有意差があり、定期健康診断を「受けている人」の方が、「受けてない人」よりも多かった。

2005年の「受けている人」85%から、今回2021年は90%台となっている。「受けていない人」も10%台から5%台へ減少しているように見える。

2014年発表の厚生労働省の「国民健康・栄養調査報告」によると60歳代で69.7%、70歳代以上で60.4%と低く、ここでもシルバー人材センター会員の意識の高さが伺われます。

### 3. <過去1年の医療機関受診> 人数%

年齢階級	ある	ない	無回答
70歳未満	87.3	11.0	1.7
70歳以上75歳未満	88.5	10.0	1.5
75歳以上80歳未満	88.3	9.7	2.0
80歳以上	87.3	8.2	4.4
無回答	63.9	8.3	27.8
n=891, 平均値	87.0	9.8	3.3

この表では、横の欄の合計が100%である。過去1年間に医療機関を受診したことがあるかどうか（人数、%）について、平均値の差の検定を行った結果、医療機関を「受診したことがある人」と「受診しなかった人」の間には有意差があり、「受診したことがある人」の方が、「受診しなかった人」よりも多かった。

### 4. <この1年間に支払った医療費> 人数%

年齢階級	1万円未満	1万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上	支払い金額不明	無回答
70歳未満	16.6	34.8	19.3	12.7	2.8	13.8
70歳以上75歳未満	11.2	41.3	23.0	12.6	1.1	10.8
75歳以上80歳未満	17.8	37.7	17.8	10.9	3.2	12.6
80歳以上	24.7	37.3	14.6	10.8	0.0	12.7
無回答	11.1	25.0	16.7	5.6	2.8	38.9
n=891, 平均値	16.5	37.6	19.1	11.6	1.9	13.4

この表では、横の欄の合計が100%である。この1年間に支払った医療費（人数、%）について、多重比較検定を行った結果、「1万円以上5万円未満」が最も高く、他に比べて有意差があった。「1万円未満」、「5万円以上10万円未満」、「10万円以上」は、中～やや低い程度で、これら3項目間に、相互の有意差はなかった。

### 5. <健康保持活動への取り組み> 人数%

年齢階級	取り組んでいる	取り組んでいない	無回答
70歳未満	77.9	19.9	2.2
70歳以上75歳未満	79.6	19.7	0.7
75歳以上80歳未満	85.0	12.6	2.4
80歳以上	75.9	19.0	5.1
無回答	58.3	13.9	27.8
n=891, 平均値	79.2	17.4	3.4
2013年 n=1475	78.6	14.5	6.8

この表では、横の欄の合計が100%である。健康保持活動に取り組んでいるかどうかについて、平均値の差の検定を行った結果、健康保持活動に「取り組んでいる人」と「取り組んでいない人」の間には有意差があり、「取り組んでいる人」の方が、「取り組んでいない人」よりも多かった。

6. <健康保持活動の内容と度数> 複数回答 人数%

健康保持活動	2021年	2013年	2005年
ウォーキング	57.1	61.1	60.8
読書	35.5	35.4	37.5
自転車	30.1	37.2	
音楽	24.8	21.5	25.3
その他	24.5	31.3	37.6
ストレッチ・ヨガ	19.7		
旅行	19.5		
ゴルフ	10.0	9.4	11.2
カラオケ	9.1		
カメラ	7.3	12.5	14.9
ジョギング	6.0	8.4	
麻雀	5.0	5.8	5.9
テニス	5.0	4.0	2.9
踊り・ダンス	3.8		
盆栽	3.6	6.0	7.7
釣り	3.3	3.9	8.2
空手・太極拳	3.3		
囲碁	2.8	5.9	9.8
将棋	2.3		6.6
野球	2.3	2.0	
ゲートボール	0.3	0.4	1.8
n=702			

→

その他・主な内訳	2021年
登山・ハイキング	3.8
体操	2.4
園芸・ガーデニング	2.3
水泳	2.1
ジム・フィットネス	1.7

定番はウォーキング 57%、読書 35%、自転車 30%の3項目です。それに続き、10%以上なのが音楽、ストレッチ・ヨガ、旅行、ゴルフでした。カメラが徐々に減り、ついに10%を割りました。これはスマホのカメラ機能の高機能・高精細化・大衆化によるものに見える。また、いままでは老後の余暇の愉しみ、嗜みの代表であった囲碁、将棋、盆栽、ゲートボールが半減から1/3減となっている。

7. <(世帯員)の数> 人数%

年齢階級	1人	2人	3人	4人以上	無回答
70歳未満	20.4	44.8	24.3	9.9	0.6
70歳以上 75歳未満	19.3	50.2	18.6	11.2	0.7
75歳以上 80歳未満	17.0	51.0	17.4	12.1	2.4
80歳以上	25.9	38.0	23.4	10.1	2.5
無回答	16.7	25.0	13.9	2.8	41.7
n=891, 平均値	20.0	46.1	20.1	10.7	3.1
2013年 n=1475	14.2	42.0	21.4	15.7	6.8
2005年 n=1406	15.3	43.7	21.3	17.3	2.3

この表では、横の欄の合計が100%である。同居している人の人数(%)について、多重比較検定を行った結果、「2人」が最も多く、他の人数に比べて有意差があった。「1人」と「3人」はほぼ同じ値で、相互の有意差はなかった。また、「1人」は「4人以上」より有意に高かった。僅差であり、有意差はないかもしれないが1～2人の家庭が増加し、4人以上の家庭の減少が想像できる。

世田谷区、墨田区の高齢者アンケート調査では、以下の通りである。

年齢階級	1人	2人	3人	4人以上
65歳以上 75歳未満 n=376	18.6	45.7	25.3	10.4
75歳以上 n=362	25.4	45.0	17.1	12.4

＜文部科学省 平成28年 シニア世代の生活の軌跡と健康に関する調査より＞  
この結果から、所帯員の数について、ほぼ同じであると言える。

#### 8. ＜年金の受給＞ 人数%

年齢階級	受給している	受給していない	無回答
70歳未満	82.3	16.0	1.7
70歳以上 75歳未満	97.0	2.2	0.7
75歳以上 80歳未満	95.5	2.0	2.4
80歳以上	94.3	2.5	3.2
無回答	58.3	2.8	38.9
n=891, 平均値	91.6	5.1	3.4
2013年 n=1475	86.6	7.3	6.2
2005年 n=1406	87.3	10.9	1.8

この表では、横の欄の合計が100%である。年金を受給しているかどうかについて、平均値の差の検定を行った結果、年金を「受給している人」と「受給していない人」の間には有意差があり、「受給している人」の方が、「受給していない人」よりも多かった。

今回のアンケートで「受給している人」が90%を超えた。

厚生労働省年金局「令和元年公的年金加入状況等調査」によると、65歳以上の公的年金受給率は、全国ベースで93.2%、東京都で91.4%であり、ほぼ同じ受給環境にあると思われる。

65歳以上の殆どの会員が何らかの公的年金を受け取っている。イオン銀行 タマルWebによると国民年金のみの平均額は男性5万8,866円、女性5万3,699円です。受け取れる金額は少ない。厚生年金（国民年金含む）の平均額は男性16万4,770円、女性10万3,159円となっていて、仮に、年金額がこれらの平均額であれば、夫婦とも会社員・公務員の世帯の年金額は合計で月26万8,000円ほどになる計算です。しかし、仮に夫が会社員で妻が専業主婦なら年金額は月約21万8,000円。さらに夫婦で自営業なら国民年金のみとなるため、月11万3,000円程度となります。そのうえ、年金にも税金や介護保険料の天引き等があり、手取りはもっと少なくなると思われる。

#### 9. ＜経済的満足度＞ 人数%

年齢階級	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	あまり満足していない	全く満足していない	無回答
70歳未満	2.2	46.4	24.3	19.9	6.6	0.6
70歳以上 75歳未満	5.9	43.5	24.2	20.4	4.8	1.1
75歳以上 80歳未満	5.7	51.8	21.1	14.6	4.0	2.8
80歳以上	3.2	53.2	18.4	18.4	5.7	1.3
無回答	2.8	19.4	19.4	13.9	2.8	41.7
n=891, 平均値	4.5	47.1	22.1	18.1	5.1	3.1
2013年 n=1475	3.7	37.8	21.8	21.8	8.3	6.7

この表では、横の欄の合計が100%である。経済的な各満足度（%）について、多重比較検定を行った結果、「まあまあ満足」は他の値よりも有意に高かった。また、「どちらとも言えない」、「あまり満足していない」もやや高く、これら2項目は、相互に有意差がなかった。これら2項目とも、「全く満足していない」より有意に高かった。全国ベースと比較して満足していない割合は25%～30%でありほぼ同様と思われる。



	満足	ゆとり はない が満足	あまり 満足し てない	全く 満足し てない	無回答
2019年 全体 (n=1755)	20.1	54.0	20.3	5.1	0.2
2016年 全体 (n=1976)	15.0	49.6	26.8	8.0	0.6

<内閣府 高齢者の経済生活に関する調査 2016年度 65歳以上>

### 第3章 仕事・交流・生きがい

#### 1. <センター以外での収入を伴う仕事> 人数%

年齢階級	している	していない	無回答
70歳未満	38.7	58.6	2.8
70歳以上 75歳未満	26.0	72.9	1.1
75歳以上 80歳未満	19.8	78.1	2.0
80歳以上	18.4	78.5	3.2
無回答	25.0	47.2	27.8
n=891, 平均値	25.5	71.4	3.1
2013年 n=1475	22.4	72.2	5.4

この表では、横の欄の合計が100%である。センター以外で収入を伴う仕事しているかどうかについて、平均値の差の検定を行った結果、仕事を「している人」と「していない人」の人数には有意差があり、「していない人」の方が、「している人」より人数が多かった。

#### 2. <センター以外の仕事での従業上の地位> 人数%

従業上の地位	2021年	2013年
パート・アルバイト	52.5	46.4
自営業主	14.6	13.6
嘱託・契約社員	12.8	10.0
その他	9.6	14.8
派遣社員	4.6	3.6
家族従業	2.7	4.2
ネット関連	1.8	
正規職員	0.9	2.7
内職	0.5	3.0
	n=219	n=330

「パート・アルバイト」「自営業主」「嘱託・契約社員」「派遣社員」が増加し、「家族従業」「正規職員」「内職」が減少した。

#### 3. <センター以外での仕事の職種> 人数%

職種	2021年	2013年
その他	33.0	27.0
技能・生産工程・労務職	18.7	22.4
専門・技術職	12.3	12.1
事務職	11.8	8.5
サービス業	6.9	5.8
保安職	6.4	6.1
販売・営業職	5.4	4.5
管理職	3.0	2.4
農林漁業従事者	2.5	3.3
	n=203	n=330

4. <シルバー入会前に最も長く経験した仕事>人数%

職種	2021年	2013年
事務職	22.8	19.7
専門・技術職	17.1	11.0
技能・生産工程・労務職	14.8	16.9
管理職	13.8	12.7
販売・営業職	13.1	11.2
その他	11.6	27.4
サービス業	5.2	5.6
保安職	1.0	1.2
農林漁業従事者	0.6	0.9
	n=795	n=1277

5. <仕事の間があるとなれば、何歳まで収入を伴う仕事をしたいか> 人数%

年齢階級	70歳未満 まで	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上	無回答
70歳未満	16.6	47.5	26.0	8.8	1.1
70歳以上75歳未満	1.5	29.7	54.3	12.3	2.2
75歳以上80歳未満	1.6	4.5	54.3	32.4	7.3
80歳以上	3.2	5.1	13.9	68.4	9.5
無回答	5.6	11.1	27.8	16.7	38.9
n=891, 平均値	5.1	21.2	40.3	27.3	6.2

この表では、横の欄の合計が100%である。仕事の間があるとなれば、何歳まで仕事をしたいか（人数、%）について多重比較検定を行った。その結果、仕事を希望する年齢間に有意差は認められず、どの年齢まで仕事を希望する人が多いかについて、結論は下せなかった。

6. <センター以外の活動への参加> 人数%

年齢階級	老人会	町内会	住民協 議会	NPO	趣味の 会	スポー ツの会	その他	無回答
70歳未満	0.6	7.7	1.7	3.3	17.7	8.8	14.4	45.9
70歳以上75歳未満	1.1	5.9	3.0	3.7	13.8	9.7	13.8	49.1
75歳以上80歳未満	2.8	7.3	4.0	1.6	14.6	9.3	7.7	52.6
80歳以上	3.8	5.7	3.2	1.3	20.3	6.3	13.3	46.2
無回答	2.8	8.3	2.8	0.0	11.1	5.6	11.1	58.3
n=891, 平均値	2.0	6.7	3.0	2.5	15.8	8.6	12.0	49.3

この表では、横の欄の合計が100%である。センター以外の各活動の参加人数（%）について多重比較検定を行った結果、「趣味の会」は、他の項目（その他を除く）よりも人数が有意に多かった。「スポーツの会」も人数が比較的多く、他の項目（その他を除く）と有意差があった。「NPO」、「老人会」、「住民協議会」は人数が少なく、これら3項目相互間には、有意差がなかった。

7. <配偶者の有無> 人数%

年齢階級	いる	いない	無回答	全国ベースでの配偶者がいる割合 n=1367
70歳未満	72.4	27.1	0.6	76.8
70歳以上75歳未満	71.7	27.1	1.1	74.2
75歳以上80歳未満	72.1	25.1	2.8	68.4
80歳以上	55.1	38.6	6.3	49.4
無回答	33.3	25.0	41.7	<内閣府 令和2年 高齢者の生活と意識>
n=891, 平均値	67.5	28.5	4.0	
2013年 n=1475	69.4	23.5	7.2	

この表では、横の欄の合計が100%である。配偶者がいるかどうかについて、平均値の差の検定を行った結果、配偶者が「いる人」と、「いない人」の間には有意差があり、「いる人」の方が、「いない人」よりも多かった。また、80歳以上で配偶者がいなくなる状況が見て取れる。

8. <(世帯員)の数> 人数%

年齢階級	1人	2人	3人	4人以上	無回答
70歳未満	20.4	44.8	24.3	9.9	0.6
70歳以上75歳未満	19.3	50.2	18.6	11.2	0.7
75歳以上80歳未満	17.0	51.0	17.4	12.1	2.4
80歳以上	25.9	38.0	23.4	10.1	2.5
無回答	16.7	25.0	13.9	2.8	41.7
n=891, 平均値	20.0	46.1	20.1	10.7	3.1
2013年 n=1475	14.2	42.0	21.4	15.7	6.8
2005年 n=1406	15.3	43.7	21.3	17.3	2.3

この表では、横の欄の合計が100%である。同居している人の人数(%)について、多重比較検定を行った結果、「2人」が最も多く、他の人数に比べて有意差があった。「1人」と「3人」はほぼ同じ値で、相互の有意差はなかった。また、「1人」は「4人以上」より有意に高かった。僅差であり、有意差はないかもしれないが1～2人の家庭が増加し、4人以上の家庭の減少が想像できる。

内閣府 令和2年度高齢者の生活と意識によると、日本の全国ベース60歳以上での所帯員の数は1人12.4%、2人46.6%、3人21.1%、4人以上16.6%、となっている。

9. <生活のほりあい> 人数%

年齢階級	大いに感じる	まあまあ感じる	どちらかというと感じる	どちらかというと感じない	全く感じない	無回答
70歳未満	4.4	45.3	26.5	19.3	3.3	1.1
70歳以上75歳未満	10.8	36.8	34.2	14.1	2.2	1.9
75歳以上80歳未満	8.1	47.8	28.3	12.1	1.2	2.4
80歳以上	7.0	47.5	29.1	10.8	3.8	1.9
無回答	8.3	22.2	16.7	5.6	5.6	41.7
n=891, 平均値	8.0	42.9	29.4	13.7	2.6	3.5
2013年 n=1475	13.3	42.5	25.2	10.2	1.8	7.1
2005年 n=1406	24.5	50.1	13.9	6.0	2.7	2.6

生活のほりあいについて大変由々しい結果となった。ほりあいを「大いに感じる」会員が2005年に比して1/3の8.0%、逆に「どちらかというと感じる」、「どちらかというと感じない」会員がそれぞれ29.4%、13.7%と倍増している。理由は想像でコロナ禍のせいと思いたいが、次回の調査で元に戻っていることを期待したい。

10. <生きがいの内容> 人数% 複数回答

年齢階級	健康で働く	趣味・娯楽	好きなことをする	働いて収入を得る	他人の役にたつ	社会貢献	友人を持つ	その他
70歳未満	66.9	53.6	55.8	35.9	32.0	35.9	22.1	4.4
70歳以上75歳未満	74.3	48.0	53.2	36.8	35.7	32.7	24.2	3.0
75歳以上80歳未満	75.7	54.3	48.6	31.2	30.0	28.3	32.4	2.0
80歳以上	63.9	49.4	41.1	29.7	32.3	26.6	31.6	3.2
無回答	41.7	27.8	25.0	16.7	25.0	13.9	13.9	0.0
n=891, 平均値	70.0	50.3	49.2	33.0	32.3	30.3	26.9	2.9
2013年 n=1475	70.8	45.9	47.7	30.8	35.2		32.8	2.1
2005年 n=1406	72.5	44.7	45.0	25.8			34.1	3.7

生きがいの内容（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「健康で働く」は他の項目よりも値が有意に高く、これに次いで「趣味・娯楽」と「好きなことをする」も有意に高かった。なお、「趣味・娯楽」と「好きなことをする」の間には有意差がなかった。また、「友人を持つ」、「働いて収入を得る」、「他人の役にたつ」、「社会貢献」の値は高くなく、これら4項目間には相互の有意差がなかった。

この順位と割合は2013年の結果とほぼ同じであり、この7項目は永年の定番であり、会員の皆様の生き甲斐を感じる時をよく表している。

11. <高齢者の役割> 人数% 複数回答

年齢階級	自立して生活	家庭親族の相談役	仕事の相談役	地域社会貢献	家事の担い手	子供孫の世話	その他
70歳未満	86.7	9.9	11.6	43.6	24.9	13.3	3.9
70歳以上75歳未満	86.2	9.7	8.6	40.1	19.7	14.9	3.0
75歳以上80歳未満	85.8	13.0	10.9	41.3	25.9	13.8	1.2
80歳以上	75.3	13.9	10.1	36.1	24.1	11.4	3.2
無回答	52.8	2.8	8.3	22.2	16.7	2.8	0.0
n=891, 平均値	82.9	11.1	10.1	39.7	23.1	13.1	2.6
2013年 n=1475	74.1	18.9	11.3	39.1	25.4	6.6	2.0
2005年 n=1406	76.7	14.9	10.0	39.4	19.0	4.7	4.7

高齢者の役割（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「自立して生活」は他の項目よりも値が有意に高く、これに次いで「地域社会貢献」が、3番目に「家事の担い手」がそれぞれ有意に高かった。当センター会員の皆様が自立した生活を維持してゆくという確固たる決意が現れている。加えて社会貢献、家事の担い手としても頑張っている姿が見える。

特に若い世代で「自立して生活する」気持ちが強いです。家族の核化の影響があるのでしょうか。ただ、「子供・孫の世話」が2005年に比して3倍になり、ジジ・ババの役割を自認している姿も見取れる。

1 2. <親しい別居親族（親戚）数> 人数%

年齢階級	0人	1-4人	5-9人	10人以上	無回答
70歳未満	9.9	55.2	26.0	8.3	0.6
70歳以上75歳未満	5.2	55.0	30.9	8.2	0.7
75歳以上80歳未満	1.2	46.6	28.3	21.5	2.4
80歳以上	6.3	46.2	31.6	12.7	3.2
無回答	2.8	16.7	22.2	16.7	41.7
n=891, 平均値	5.2	49.6	29.0	13.0	3.3
2013年 n=1475	14.0	32.9	23.8	20.9	8.3

この表では、横の欄の合計が100%である。親しい親戚数(%)について多重比較検定を行った結果、「1-4人」は、「0人」、「10人以上」よりも有意に多かった。これに次いで「5-9人」も多かったが、「1-4人」と有意な差は認められなかった。

1 3. <日頃から親しくしている（親しい友人）人> 人数%

年齢階級	0人	1-4人	5-9人	10人以上	無回答
70歳未満	16.0	57.5	17.1	9.4	0.0
70歳以上75歳未満	11.5	55.8	24.5	6.7	1.5
75歳以上80歳未満	8.1	58.3	20.6	11.7	1.2
80歳以上	13.3	57.0	21.5	5.7	2.5
無回答	0.0	8.3	2.8	0.0	88.9
n=891, 平均値	11.3	55.1	20.5	8.2	4.8
2013年 n=1475	6.2	30.2	27.5	27.3	8.8

この表では、横の欄の合計が100%である。親しい友人数(%)について多重比較検定を行った結果、「1-4人」は他の人数よりも有意に多かった。「0人」、「5-9人」、「10人以上」はさほど多くなく、これら3項目間に、相互の有意差はなかった。

2013年に比して親しくしている友人の数が0人~4人に5人以上から大きく移動している。理由は不明だがコロナで外出の機会やサークルの活動などを自粛しているせいなのかもしれない。

1 4. <親しいシルバーのメンバー数> 人数%

年齢階級	0人	1-4人	5-9人	10人以上	無回答
70歳未満	71.8	25.4	1.7	0.0	1.1
70歳以上75歳未満	59.5	30.5	3.7	1.1	5.2
75歳以上80歳未満	46.2	44.1	5.7	0.8	3.2
80歳以上	40.5	44.9	7.0	0.6	7.0
無回答	2.8	5.6	2.8	0.0	88.9
n=891, 平均値	52.6	34.8	4.4	0.7	7.5
2013年 n=1475	54.4	27.2	5.2	3.1	10.0

この表では、横の欄の合計が100%である。親しいシルバーのメンバー数(%)について多重比較検定を行った結果、「0人」の割合は高く、「5-9人」、「10人以上」に比べ有意差があった。しかし、「0人」と「1-4人」を比べると、これらに有意差はなかった。

2013年に比して4人以下が増加し、5人以上が減少している。これもコロナの影響で班活動、ボランティア活動、慰安旅行、各種活動が制限されたためと思われる。

#### 第4章 就業率・仕事内容・研修

##### 1. <センターを知ったルート> 人数% 複数回答

入会後の年数	市・センターの広報	新聞	友人に聞いた	センターの催し、活動	テレビ・ラジオ	センター会員募集チラシ	バスの車内アナウンス	ハローワーク	その他
5年未満	55.3	0.9	25.2	3.1	0.3	25.2	13.7	5.6	6.2
5～10年未満	60.7	0.8	31.9	2.7	0.4	12.8	9.3	3.5	5.4
10～20年未満	55.9	1.6	36.0	3.2	0.0	10.5	1.6	4.0	6.1
20年以上	54.2	0.0	22.9	6.3	2.1	6.3	4.2	8.3	14.6
無回答	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0
n=891, 平均値	56.3	1.0	29.5	3.1	0.3	16.4	8.3	4.6	6.3
2013年 n=1475	54.6	2.6	39.7	7.1	0.7			7.2	8.3
2005年 n=1406	46.2	1.6	42.5	5.6	1.1			5.3	11.7

センターを知ったルート（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「市・センターの広報」は他のルートよりも人数が多く、他ルートとは有意差があった。これに次いで「友人から聞いた」が多く、これも他のルートとは概ね有意差があった。その他のルート間の比較では、有意差がなかった。「センター会員募集チラシ」「バスの車内アナウンス」は入会のルートとして効果を表している。

##### 2. <センターへ入会の理由> 人数% 複数回答

入会後の年数	仕事が好き	収入を得る	健康維持	地域社会貢献	知識経験を生かす	仲間が欲しい	人に勧められた	時間的余裕ある	その他
5年未満	24.5	61.5	44.1	31.7	18.6	13.4	9.6	36.0	2.8
5～10年未満	23.0	60.3	54.1	25.3	13.2	14.8	10.9	37.0	1.9
10～20年未満	26.7	49.8	51.0	27.5	16.2	17.4	9.3	30.8	3.2
20年以上	37.5	43.8	31.3	39.6	25.0	20.8	2.1	25.0	2.1
無回答	5.9	17.6	17.6	11.8	5.9	17.6	5.9	17.6	0.0
n=891 平均値	25.0	56.1	47.7	28.7	16.5	15.4	9.4	33.9	2.6
2013年 n=1475	32.7	54.6	48.8	30.0	18.4	18.0	9.7	35.4	2.8
2005年 n=1406	35.6	46.7	53.7	26.0	18.3	13.9	9.8		3.6
北区 SC2016年 n=1182		64.5	53.8	26.1	17.8	6.3	5.8	34.8	1.9

センターへの入会理由（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「収入を得る」は高く、他の理由に比べると概ね有意差があった。これに次ぐのが「健康維持」で、これも他に比べると概ね有意差があった。収入を得ながら、身体を動かすことで健康維持もとの一石二鳥の構えの会員がおおい。結果は、ほぼ東京都北区シルバー人材センターのアンケート結果とほぼ同一の結果となった。

### 3. <この1年間のセンターでの仕事> 人数%

入会後の年数	した	していない	無回答
5年未満	70.2	28.9	0.9
5年以上10年未満	87.5	12.1	0.4
10年以上20年未満	82.6	16.6	0.8
20年以上	70.8	22.9	6.3
無回答	17.6	23.5	58.8
n=891, 平均値	77.7	20.2	2.1
2013年 n=1475	75.5	21.6	2.9

この表では、横の欄の合計が100%である。この1年間のセンターで仕事をしたかどうかについて、平均値の差の検定を行った。その結果、「仕事をした人」と「しなかった人」の人数には有意差があり、仕事をした人の方が、しなかった人より多かった。

この1年間とはこのアンケートの実施がほぼ、上半期終了時点であるため、この1年間のセンターでの仕事は、2020年10月から2021年9月末までということになる。2020年度の当センターでの集計では74%(会員数1701、就業会員1346)です。今までの最高の当センターの就業率は2014年度の80.7%(会員数1591、就業会員1284)と就業会員数は増加しているものの、会員数がそれ以上に増加しているのがわかる。因みに東京都のシルバー人材センターの就業率の2021年度全体平均は75.3%で当センターは平均値だと思われる。

### 4. <センターの仕事に対する満足度> 「非常に満足している」+「まあまあ満足している」人数%

入会後の年数	配分金	仕事仲間	発注者の態度、対応、理解	就業体制	仕事の出来具合	能力を発揮する機会	知識・技術習得機会
5年未満	47.2	46.0	46.6	49.4	55.3	35.1	20.2
5年以上10年未満	56.4	54.9	62.6	58.8	64.6	38.9	23.3
10年以上20年未満	56.7	57.5	59.1	55.1	65.2	42.9	29.1
20年以上	47.9	39.6	47.9	47.9	43.8	35.4	29.2
無回答	35.3	35.3	41.2	35.3	41.2	11.8	23.5
n=891、平均値	52.3	51.2	54.7	53.3	59.8	37.9	24.1
2013年 n=1475	64.9	71.8	72.7	66.1	79.9	50.9	29.4

センターの仕事に対する満足度(人数、%)について多重比較検定を行った結果、「配分金」、「仕事仲間」、「発注者の態度、対応、理解」、「就業体制」、仕事の出来具合」の5項目には相互の有意差がなく、かつこれらは「能力を発揮する機会」、「知識・技術習得の機会」よりも有意に高かった。「能力を発揮する機会」と「知識・技術習得の機会」の2項目間に有意差はなかった。

2013年に比して、全項目について満足度の低下がみられる。

### 5. <この1年のシルバーの仕事の満足度> 人数%

入会後の年数	非常に満足	まあまあ満足	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	無回答
5年未満	8.7	41.9	12.1	8.1	0.6	28.6
5年以上10年未満	10.1	52.1	15.2	8.2	2.7	11.7
10年以上20年未満	8.5	51.4	14.2	8.1	1.2	16.6
20年以上	10.4	37.5	10.4	4.2	4.2	33.3
無回答	5.9	29.4	23.5	11.8	0.0	29.4
n=891, 平均値	9.1	47.0	13.7	8.0	1.6	20.7
2013年 n=1475	13.9	56.7	16.1	8.9	3.1	1.3

この1年のシルバーの仕事の満足度(人数、%)について、多重比較検定を行った結果、「まあまあ



満足」は最も高く、他の項目とは有意差があった。「満足」、「どちらとも言えない」、「あまり満足していない」の3項目は低く、これら相互の有意差はなかった。「全く満足していない」は最も低く、「満足」、「あまり満足していない」と有意差がなかったが、「どちらとも言えない」に比べると、有意に低かった。

2013年に比して「満足」「まあまあ満足」が減少し、無回答が増加しているのが気にかかる。

6. <この1年間仕事をしなかった理由> 人数% 複数回答

入会後の年数	体調が優れず	他の仕事	自分に向かない仕事	家族の反対	仕事の紹介なし	コロナで発注停止	コロナで自粛	その他
5年未満	5.6	37.8	12.2	3.3	33.3	7.8	11.1	23.3
5年以上10年未満	29.4	32.4	2.9	5.9	17.6	2.9	23.5	11.8
10年以上20年未満	26.3	26.3	2.6	5.3	42.1	10.5	13.2	5.3
20年以上	33.3	8.3	0.0	16.7	8.3	8.3	16.7	16.7
無回答	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
n=179, 平均値	17.3	32.4	7.3	5.0	30.2	7.3	14.0	20.0
2013年 n=318	16.0	25.6	8.8	0.6	34.6			14.8
2005年 n=430	17.7	23.0	8.8	0.9	24.9			19.5

この1年間仕事をしなかった理由（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「他の仕事があった」「仕事の紹介なし」は高い値であったが、他の項目よりすべて有意に高いというわけではなかった。項目間の有意差は、若干の項目間に見られる程度で、どの項目が多いという結論は下せなかった。また、コロナ蔓延の影響も大きいようで「コロナ自粛」「コロナ発注停止」「家族の反対」などで2割5分の増加が確認でき、社会全体のコロナ離職が大きな影響が発生している。

<この1年未就業であった人の今後の就業意欲> 人数%

入会後の年数	どんな仕事も引き受ける	仕事内容によっては引き受けない	引き受けない
5年未満	13.9	79.5	6.6
5年以上10年未満	10.5	63.2	26.3
10年以上20年未満	9.5	74.3	16.2
20年以上	11.8	41.2	47.1
無回答	0.0	100.0	0.0
n=276, 平均値	11.6	72.8	15.6
2013年 n=318	9.1	59.4	23.9

この表では、横の欄の合計が100%である。この1年間未就業であった人の今後の就業意欲の項目（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「仕事内容によっては引き受けない」が高く、他の項目と有意差が認められた。なお、「どんな仕事も引き受ける」、「引き受けない」の間には有意差は認められなかった。

8. <希望する仕事内容> 人数% 複数回答

仕事内容	2021年 n=891			2013年 n=1475		
	希望する仕事内容	過去1年間の実際の仕事	充足度(%)	希望する仕事内容	過去1年間の実際の仕事	充足度(%)
施設管理	25.8	18.4	71.3	23.9	17.1	71.6
一般事務	19.1	3.1	16.5	18.0	5.6	31.1
屋内作業	14.0	12.6	89.6	17.2	15.3	89.0
技能	13.7	5.3	38.5	13.4	5.2	38.8
調査事務	13.2	1.6	11.9	11.5	0.7	6.1
福祉家事援助	12.3	10.3	83.6	11.5	7.7	67.0
教育指導	11.9	4.3	35.8	9.2	3.7	40.2
屋外作業	11.8	14.6	123.8	13.4	13.2	98.6
物品管理	8.0	0.7	8.5	9.6	1.1	11.5
子育て支援	6.8	2.0	29.5	7.1	1.4	19.7
社会活動	6.4	3.0	47.4	17.9	20.9	116.8
その他のサービス	5.4	0.2	4.2	3.8	0.6	15.8
経理事務	4.5	1.0	22.5	4.1	0.4	9.8
外務	4.4	6.3	143.6	3.7	0.9	24.3
製作加工	4.3	0.2	5.3	3.7	0.2	5.4
特殊技術	4.2	0.8	18.9	5.7	1.1	19.3
毛筆・筆耕	4.0	0.8	19.4	4.3	0.6	14.0
販売集金	1.0	0.0	0.0	3.7	0.2	5.4
その他	8.3	17.1	205.4	4.9	7.5	153.1

施設管理、屋内作業(清掃作業等)、屋外作業(除草、水やり等)、福祉家事援助の仕事が実際の仕事として希望者の1割以上を占めて、充足率も8割以上で安定しています。希望者は多いのに、それに見合う仕事がないのが一般事務、調査事務、教育指導です。また、コロナ禍の影響と思われるのが社会活動(ボランティア等)が2013年に比べ実施が85%の減少となりました。その他として記入された仕事内容で‘配付作業’が17件ありました。

<センターの仕事に求めるもの> 人数% 複数回答

入会後の年数	収入を得たい	健康づくり	社会貢献	知識経験を生かす	仲間づくり	仕事がしたい
5年未満	65.8	47.8	37.6	25.8	19.9	31.1
5年以上10年未満	63.4	60.7	35.4	20.2	26.5	28.0
10年以上20年未満	56.7	58.7	27.5	21.5	31.2	28.3
20年以上	35.4	37.5	35.4	20.8	37.5	14.6
無回答	29.4	52.9	17.6	17.6	29.4	17.6
n=891, 平均値	60.3	54.1	33.7	22.6	26.0	28.3
2013年 n=1475	59.5	54.8	33.3	22.5	29.4	36.0

センターの仕事に求めるもの(人数、%)について多重比較検定を行った結果、「収入を得たい」と「健康づくり」の値が他より有意に高く、これら2項目間には有意差がなかった。「社会貢献」、「知識経験を生かす」、「仲間づくり」、「仕事がしたい」の値は高くなく、これらの4項目間には相互の有意差がなかった。

10. <参加した研修・講習会の種類> 複数回答% 人数%

種類	2021年	2013年
技能	22.3	
接遇	21.3	
ヘルパー2級	14.2	24.0
パソコン	10.0	22.6
植木剪定	9.5	13.2
襖・障子張	5.2	3.5
毛筆筆耕	3.8	4.5
その他	25.1	37.8
n	211	288

2021年は新型コロナウイルス蔓延防止のため研修・講習会を自粛したため、全種類が減少した。

その他で記入された研修・講習内容として、

安全講習、安全自転車講習、介護支援講座、草刈り機、健康講習会、安全安心パトロール、生活支援サービス、整理収納コーディネーター、清掃講習、包丁研ぎ、ベビーシッター、保育補助、防災・防火責任者講習、マンション管理などがあつた。

11. <研修・講習会は生かされているか> 人数%

入会後の年数	とても生かされている	少し生かされている	全く生かされていない
5年未満	28.9	44.7	26.3
5年以上10年未満	28.2	62.0	9.9
10年以上20年未満	46.3	43.8	10.0
20年以上	33.3	50.0	16.7
無回答・無効	0.0	100.0	0.0
n=210, 平均値	35.2	51.4	13.3
2013年 n=288	35.8	44.1	17.4

(上記の表の回答者(210名)は、<参加した研修・講習会の種類>の回答者(問7-1;211名)とわずかに異なる。)研修・講習会は生かされているかどうか(人数、%)について多重比較検定を行った結果、「少し生かされている」と「全く生かされていない」の間に有意差が認められ、「少し生かされている」の方が「全く生かされていない」よりも人数が多かった。これら以外の項目間には有意差は認められなかった。研修や講習会が現在の生活や就業に生かされていると感じる会員は8割5分認められる。会員の皆様の向上心、探究心は根強いものがあり、この力がより良い、質の高い、安全な就業につながると思います。

12. <今後のセンターの研修・講習への参加意向> 人数%

入会後の年数	参加したい	参加したくない	無回答
5年未満	46.3	46.6	7.1
5年以上10年未満	40.5	50.6	8.9
10年以上20年未満	36.0	53.4	10.5
20年以上	18.8	62.5	18.8
無回答	35.3	47.1	17.6
n=891, 平均値	40.1	50.5	9.4
2013年 n=1475	42.4	45.6	12.0

この表では、横の欄の合計が100%である。今後のセンターの研修・講習への参加意向(人数、%)について、平均値の差の検定を行った結果、「参加したい人」と「参加したくない人」の間に有意差は認められず、どちらが多いとは結論できなかった。参加したいとする方は20年未満の会員に多く、

参加したくないとする方は20年以上の会員に多く見られる。

13. <講習に参加したい分野> 人数% 複数回答

入会後の年数	植木剪定	襖・障子張	毛筆耕筆	パソコン	ヘルパー2級	接遇研修	技能研修	その他
5年未満	20.4	13.6	15.6	49.0	5.4	10.9	22.4	2.0
5年以上10年未満	19.6	11.8	11.8	38.2	7.8	16.7	19.6	5.9
10年以上20年未満	20.9	10.5	17.4	33.7	1.2	10.5	24.4	9.3
20年以上	20.0	0.0	0.0	60.0	10.0	10.0	20.0	20.0
無回答	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0
n=351, 平均値	20.5	11.7	14.2	42.2	5.1	12.5	21.9	5.4
2013年 n=625	27.5	17.6	20.0	47.5	16.5			9.0

講習に参加したい分野（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「パソコン」は最も高く、他の項目より、有意に高かった。これに次いで、「植木剪定」と「技能研修」が高かったが、これら2項目間には有意差がなかった。「植木剪定」は、「ヘルパー2級」や「襖・障子張」より有意に高く、また「技能研修」は、「ヘルパー2級」より有意に高い結果であった。

その他で、講習に参加したい分野として、80歳以上で役に立つ講習、ZOOM講習、花壇手入れ、施設管理、除草、スマホ、三鷹市観光ガイド、木工関連、保育関連、AED操作講習、DIY講習、編み物、WEB作成、安全衛生、年金講習、農業、パワハラ防止講習、などがあつた。

14. <会報を読む頻度> 人数%

入会後の年数	毎回読む	時々読む	読まない	無回答
5年未満	49.7	35.7	8.4	6.2
5年以上10年未満	66.1	27.6	3.9	2.3
10年以上20年未満	81.4	13.4	2.4	2.8
20年以上	85.4	10.4	4.2	0.0
無回答	35.3	23.5	23.5	17.6
n=891, 平均値	64.9	25.6	5.5	4.0
2013年 n=1475	67.1	24.0	5.2	3.8
2005年 n=1406	60.9	28.0	5.4	5.7

この表では、横の欄の合計が100%である。会報を読む頻度（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「毎回読む」が、「時々読む」と「読まない」よりも有意に多かった。「時々読む」、「読まない」の間に有意差はなく、後者2つのうちではどちらが多いという結論を下すことはできなかった。

15. <定期総会への参加> 人数%

入会後の年数	出席している	時々出席している	出席していない	無回答
5年未満	18.9	10.2	66.5	4.3
5年以上10年未満	26.1	17.5	54.1	2.3
10年以上20年未満	36.8	19.4	41.3	2.4
20年以上	62.5	12.5	22.9	2.1
無回答	29.4	11.8	47.1	11.8
n=891, 平均値	28.5	15.0	53.2	3.3
2013年 n=1475	24.9	26.9	44.5	3.7
2005年 n=1250	27.7	27.5	39.0	5.8

この表では、横の欄の合計が100%である。定期総会への参加（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「出席していない」と「時々出席している」の間には有意差が認められたが、これ以外

の項目間に有意差は認められず、全体としてどの項目が最も多いという結論は下せなかった。

16. <現在の配分金・賃金の月額> 人数%

年齢階級	1万円程度	2万円程度	3万円程度	5万円程度	7万円程度	10万円以上	無回答
70歳未満	20.4	11.6	11.0	16.0	17.1	1.7	22.1
70歳以上75歳未満	22.7	10.8	14.9	16.7	16.4	3.0	15.6
75歳以上80歳未満	23.5	11.3	15.4	18.2	12.6	2.0	17.0
80歳以上	29.1	17.7	8.2	11.4	4.4	0.6	28.5
無回答	25.0	8.3	13.9	11.1	8.3	0.0	33.3
n=891, 平均値	23.7	12.2	13.0	15.8	13.0	1.9	20.3

現在の配分金・賃金の月額（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「1万円程度」が、他の項目よりも有意に高かった。また、「10万円以上」は、他の項目より有意に低かった。「2万円程度」、「3万円程度」、「5万円程度」、「7万円程度」は、中程度の値で、これら相互に有意差はなかった。

上記結果から、月々の配分金・賃金の平均は34,642円となる。

$$(23.7*1+12.2*2+13.0*3+15.8*5+13.0*7+1.9*10)/(100-20.3)=34.642 \text{ 万円/月}$$

この一年仕事をせず「配分金なし」の項目を設けなかったため、この平均は配分金・賃金をいただいている方の平均と考える必要があると思われる。

令和2年の在籍は1701人、就業実人員は1346人、配分金・賃金の合計が5億円/年なので単純平均は約2.5万円、就業者平均は約3.1万円となる。

17. <希望する配分金・賃金の月額> 人数%

年齢階級	1万円程度	2万円程度	3万円程度	5万円程度	7万円程度	10万円以上	無回答
70歳未満	6.6	11.0	16.6	24.3	20.4	15.5	5.5
70歳以上75歳未満	5.9	13.4	15.2	26.4	20.4	11.2	7.4
75歳以上80歳未満	8.1	11.7	16.2	29.6	17.0	5.3	12.1
80歳以上	12.7	12.0	22.2	17.7	10.8	2.5	22.2
無回答	11.1	13.9	11.1	16.7	16.7	8.3	22.2
n=891, 平均値	8.1	12.2	16.8	24.9	17.6	8.8	11.6

この表では、横の欄の合計が100%である。希望する配分金・賃金の月額（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「5万円程度」は高く、「1万円程度」、「2万円程度」、「10万円以上」に比べると、それぞれ有意差に高かった。しかし「5万円程度」は、「3万円程度」、「7万円程度」に比べると、有意差が認められなかった。上記結果から月々の希望する配分金・賃金の平均は47,353円となる。 $(8.1*1+12.2*2+16.8*3+24.9*5+17.6*7+8.8*10)/(100-11.6)=47.353 \text{ 円/月}$

会員のアンケート結果を入力し、感じたことは、皆様の希望額は殆どの方が現在の配分金の一つ上のクラス（1万円/月程度の方の希望額は2万円/月程度、3万円/月の方は5万円/月程度）を希望されていたと感じる。会員の切実な思いが伝わった。47,000円/月-35,000円/月はたったの12,000円/月です。これから計算すると当センターの売上の増額が2億円~2.5億円/年ほどになります。なかなか実現が難しい数値ですが近づけるように努力が必要です。

## 第5章 会員の意義・今後の期待

### 1. <センター加入後の変化>：「あてはまる」＋「まあまああてはまる」 人数%

入会後の年数	健康になった	生きがいを得られた	家計が楽になった	友人ができた	地域の役に立った	自分の知識を生かした	家族との関係が良好になった	生き方や考え方の幅広くなった
5年未満	49.7	45.0	30.4	32.6	47.5	27.3	24.2	37.9
5年以上10年未満	65.4	54.9	40.9	55.6	55.3	32.3	31.5	47.9
10年以上20年未満	68.8	64.8	36.8	64.0	53.8	45.7	33.6	51.4
20年以上	66.7	75.0	22.9	66.7	56.3	35.4	33.3	62.5
無回答	52.9	35.3	29.4	47.1	47.1	41.2	17.6	35.3
n=891, 平均値	60.5	54.8	34.8	50.1	52.0	34.6	29.3	45.8
2013年 n=1475	54.7	55.6	33.6	54.6	46.6	32.8	30.4	44.7
2005年 n=1406	28.9		29.8	30.9	24.3			27.2

センター加入後の変化が「あてはまる」と「まあまああてはまる」の合計人数(%)について多重比較検定を行った。その結果、「健康になった」、「生きがいを得られた」、「友人ができた」、「地域の役に立った」、「生き方や考え方の幅が広がった」の5項目が高く、他項目とは概ね有意差があった。また、これら5項目間には有意差はなかった。「家計が楽になった」、「家族との関係が良好になった」、「自分の知識を生かした」は低い値で、これら3項目間に有意差はなかった。

会員はセンターに加入したことによりどのように変わったと感じているか？前回の調査結果とほぼ同等の結果となっている。「健康」「生きがい」「地域貢献」の3本柱がシルバー会員の皆様の協働共助、生涯現役、社会還元、生涯青春の支えになっているようだ。センター加入が会員にとって前向きな動機となり、重要なエポックになっているようだ。

### 2. <会員を退会すること> 人数%

入会後の年数	考えたことがある	考えていない	無回答
5年未満	30.7	64.0	5.3
5年以上10年未満	35.0	60.7	4.3
10年以上20年未満	42.5	54.7	2.8
20年以上	45.8	50.0	4.2
無回答	41.2	47.1	11.8
n=891, 平均値	36.3	59.4	4.4

この表では、横の欄の合計が100%である。会員を退会することを考えたことがあるか否かについて、平均値の差の検定を行った結果、退会を「考えたことがある人」と、「考えてない人」の間に統計的有意差が認められ、「考えてない人」の方が多かった。

3. <会員退会を考えた理由> 人数% 複数回答

入会後の年数	病気	就職	その他で就職	転居	希望する仕事なし	就業機会なし	家庭の事情	加齢	他団体への加入	センターへの不満	その他
5年未満	15.9	5.1	11.1	4.0	32.3	16.2	10.1	15.2	5.1	8.1	12.1
5年以上 10年未満	25.3	4.4	3.3	1.1	15.4	9.9	13.2	41.8	1.1	9.9	0.0
10年以上 20年未満	21.2	2.9	5.8	1.0	9.6	10.6	7.7	62.5	1.9	4.8	2.9
20年以上	36.4	0.0	4.5	0.0	9.1	4.5	0.0	72.7	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	14.3	0.0	42.9	28.6	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0
n=323, 平均値	21.3	3.7	6.8	1.9	18.9	12.1	9.3	42.1	2.5	7.1	4.6

会員退会を考えた理由（人数、%）について多重比較検定を行った。平均値から見ると「加齢」が最も高く、次いで「希望する仕事がない」、「病気」が多かったが、これら3項目間に統計的な有意差はなかった。なお、「加齢」は、「就職」、「その他で就職」、「転居」、「就業機会なし」、「家庭の事情」、「他団体への加入」、「センターへの不満」、「その他」の8項目に比べると、それぞれ有意に高かった。

4. <今後センターの活動で重視してほしいこと> 人数% 複数回答

入会後の年数	就業先開拓	配分金単価の引き上げ	会員の福利厚生	就業に役立つ技能研修	健康安全就業の講習会	会員の組織の強化	その他
5年未満	50.6	41.9	23.3	26.7	16.5	7.1	4.0
5年以上10年未満	43.2	39.7	23.3	22.2	18.3	14.0	1.9
10年以上20年未満	43.7	37.7	17.8	19.4	20.2	13.4	2.0
20年以上	39.6	20.8	14.6	20.8	22.9	14.6	8.3
無回答	41.2	35.3	35.3	5.9	17.6	11.8	0.0
n=891, 平均値	45.8	38.8	21.5	22.7	18.4	11.3	3.0
2013年 n=1475	51.3	29.1	21.3	22.5	20.8	13.4	3.7
2005年 n=1406	46.7	22.8	19.8	20.1	16.9	12.7	4.1

今後センターの活動で重視してほしいこと（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「就業先開拓」が最も高く、他項目と有意差があった。「配分単価の引き上げ」も高く、他項目と概ね有意差があった。なお、「就業先開拓」と「配分単価の引き上げ」の間に有意差がなかった。「会員の福利厚生」、「就業に役立つ技能研修」、「健康安全就業の講習会」、「会員の組織の強化」は低い値を示し、これら相互に有意差はなかった。

「就業先開拓」「配分金単価引き上げ」が1,2位を占めており、そのあとの順位も2005, 2013年も変わらない。不動の順位となっている。その中で、「配分金の単価引き上げ」の希望が年を追って増加して来ています。景気の低迷の影響もあり、なかなか、会員の要望に答えきれていない実情があります。

5. <80歳以上の人にどのような仕事を増やすか> 人数% 複数回答

職種	回答数
軽作業	74.9
大勢で助け合いながらできる	41.4
ご近所の助けになる	39.5
独自事業開拓	34.0
家事手伝い・見守り	29.3
その他	4.5
n=817	

6. <女性会員にどのような仕事を増やすか> 人数% 複数回答

職種	回答数
軽作業	61.5
家事手伝い	56.3
見守りサービス	55.2
ご近所の助け	40.0
傾聴サービス	35.7
独自事業開拓	32.2
その他	4.2
n=785	



## 第6章 デジタル社会への対応状況

### 1. <携帯電話所有> 人数%

年齢階級	スマホ所有	ガラケー所有	持っていない	その他	無回答
70歳未満	90.1	7.2	1.7	0.0	1.1
70歳以上 75歳未満	79.2	16.4	1.9	0.0	2.6
75歳以上 80歳未満	71.7	21.1	6.1	0.0	1.2
80歳以上	57.6	26.6	10.8	0.0	5.1
無回答	25.0	8.3	0.0	0.0	66.7
n=891, 平均値	73.3	17.3	4.5	0.0	4.9

この表では、横の欄の合計が100%である。携帯電話所有（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「スマホを所有」の値が最も高く、他に比べ有意差があった。「ガラケー所有」、「持っていない」の値は低く、相互に有意差はなかった。

NTT ドコモモバイル研究所「スマホ 携帯所有動向(2021年1月)」によると

	スマホ所有	ガラケー所有
60歳代	80%	19%
70歳～79歳	62%	26%

当センターの保有率が全国平均に比べ10%ほど高くなっている。

### 2. <パソコン（タブレットを含む）所有> 人数%

年齢階級	持っている	持っていない	無回答
70歳未満	70.2	28.7	1.1
70歳以上 75歳未満	68.8	27.9	3.3
75歳以上 80歳未満	55.1	42.5	2.4
80歳以上	41.1	53.8	5.1
無回答	13.9	16.7	69.4
n=891, 平均値	58.1	36.3	5.6

この表では、横の欄の合計が100%である。パソコン（タブレットを含む）を所有するかどうか（人数、%）について、平均値の差の検定を行った結果、パソコンを「持っている人」と、「持っていない人」の間には有意差がなく、どちらが多いという結論を下すことはできなかった。

### 3. 携帯電話・パソコン（タブレットを含む）の所有状況＞ 人数%

年齢階級	携帯のみ 所有	パソコンのみ 所有	携帯・パソコ ン両方所有	携帯もパソコン も持たない	無回答
70歳未満	27.6	0.6	69.6	1.1	1.1
70歳以上75歳未満	26.0	0.4	68.4	1.5	3.7
75歳以上80歳未満	38.9	2.4	52.6	3.6	2.4
80歳以上	43.0	0.6	39.2	10.1	7.0
無回答	16.7	0.0	13.9	0.0	69.4
n=891, 平均値	32.5	1.0	56.9	3.5	6.1

本表では、横の欄の合計が100%となる。携帯電話、パソコンの所有状況（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「携帯電話とパソコン両方を所有する者」は、「携帯電話のみ所有する者」とは有意差が認められなかったが、「パソコンのみ所有」、「携帯電話もパソコンも持たない」に比べるとそれぞれ有意に高かった。「パソコンのみ所有する者」と「携帯電話もパソコンも所有しない者」の値は低く、これらは相互に有意差はなかった。

### 4. <携帯電話・パソコン等の用途> 人数% 複数回答

年齢階級	電話機 能	メール 機能	インタ ーネッ ト	ライン、 SNS	Zoom・テ レビ会 議	資料作 成・印刷	何も使 ってな い	その他
70歳未満	82.3	85.1	81.8	65.2	32.6	45.9	1.1	6.6
70歳以上75歳 未満	73.6	77.0	71.4	49.1	24.2	39.4	1.1	3.0
75歳以上80歳 未満	66.0	67.2	56.3	35.6	14.2	32.8	2.4	0.8
80歳以上	50.0	48.1	39.9	23.4	7.0	22.8	1.3	2.5
無回答	22.2	16.7	11.1	11.1	0.0	2.8	0.0	0.0
n=891, 平均値	67.0	68.4	61.3	42.5	19.1	34.5	1.5	2.9

携帯電話・パソコン等の用途（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「電話機能」、「メール機能」は、「Zoom・テレビ会議」、「資料作成・印刷」、「何も使っていない」よりも有意に高かった。さらに、全体の中で高い方の値である「電話機能」、「メール機能」、「インターネット」、「ライン、SNS」の4項目間には相互の有意差がなかった。

メール、インターネット、ラインなどのSNSの使用率が年代が若いほど高くなっている。次回のアンケートが興味深い。軒並み使用率のアップとキャッシュレス決済等のデジタル化の動きが加速されてくるはずである。この辺のデジタル化スキルも上げないと今後の就業開拓に影響が出てくると懸念される。

総務省 令和2年 情報通信白書による年代別インターネット使用率は

60～69歳 82.7%、70～79歳 59.6% 80歳以上 25.6%となっており、当センターの使用率は平均か若干高い程度と思われる。

5. <携帯電話・パソコンでシルバーホームページ閲覧> 人数%

年齢階級	週1回以上 見る	月1回見 る	時々見る	殆んど見 ない	一度も見たこ とない	無回答
70歳未満	2.8	3.9	32.0	33.7	24.3	3.3
70歳以上75歳未満	0.7	5.2	22.7	29.4	33.5	8.6
75歳以上80歳未満	1.2	2.4	21.1	27.1	36.8	11.3
80歳以上	1.9	3.2	14.6	22.8	37.3	20.3
無回答	0.0	0.0	0.0	8.3	22.2	69.4
n=891, 平均値	1.5	3.6	21.8	27.6	32.8	12.8

この表では、横の欄の合計が100%である。携帯電話・パソコンでのシルバーホームページ閲覧（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「一度も見たことない」は、「殆んど見ない」と有意差がなかったが、「時々見る」、「月1回見る」、「週1回以上見る」に比べると、有意に高かった。「殆んど見ない」は、「月1回見る」、「週1回以上見る」に比べ、有意に高かった。

## 第7章 新型コロナウイルス蔓延の影響

### 1. <コロナ禍の仕事への影響> 人数%

年齢階級	仕事に影響なし	仕事が縮小され収入減	仕事なく収入なし	仕事なく別の仕事に就いた	無回答
70歳未満	54.7	25.4	9.9	4.4	5.5
70歳以上75歳未満	59.1	29.4	5.9	0.4	5.2
75歳以上80歳未満	68.0	20.6	2.8	0.8	7.7
80歳以上	67.7	12.7	4.4	1.9	13.3
無回答	5.6	5.6	2.8	0.0	86.1
n=891, 平均値	60.0	22.2	5.5	1.6	10.7

この表では、横の欄の合計が100%である。コロナ禍の仕事への影響（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「仕事に影響なし」の値が最も高く、他に比べ有意差があった。「仕事が縮小され収入減となった」、「仕事なく収入なし」、「仕事がなく別の仕事についていた」の値は低く、これら相互の有意差はなかった。

コロナ禍が仕事に影響しなかった会員は約6割ですが、70歳未満の会員は75歳以上の会員に比べ影響が大きい。影響があり、収入がなくなった方、減ってしまった方は30%弱います。

### 2. <ワクチン接種の有無> 人数%

年齢階級	接種した	接種予定	接種しない	その他	無回答
70歳未満	92.3	2.2	5.0	0.6	0.0
70歳以上75歳未満	93.7	3.7	1.9	0.0	0.7
75歳以上80歳未満	96.4	1.6	1.6	0.0	0.4
80歳以上	95.6	2.5	0.6	0.0	1.3
無回答	13.9	0.0	0.0	0.0	86.1
n=891, 平均値	91.2	2.5	2.1	0.1	4.0

この表では、横の欄の合計が100%である。ワクチン接種の有無（人数、%）について多重比較検定を行った結果、「接種した」の値が非常に高く、他に比べ有意差があった。「接種予定」、「接種しない」の値は低く、これら相互間で有意差はなかった。

東京都の65歳以上のワクチン接種率は実数ベースで9月末(アンケートの同時期)現在、一回目接種完了 89.30%、二回目接種完了 88.68%であった。(出典：デジタル庁) シルバー人材センターの接種率は92~95%となっていて接種率の高さが伺える。

(この結果は令和3年9月末なので、令和4年の3回目接種は始まっていません。2回目接種の真っ最中でした。当センターの接種率は平均より高く、ご自身及び家族の健康、他の方への感染予防等の気持ちが強いと思われる。)